

第3期中期目標期間中における研究力強化のための支援の方策

平成28年2月19日 研究推進会議

1. 目的

第3期中期目標期間中における研究推進の基本方針に則り、基盤的研究力の向上及び特色のある分野の研究力向上のための支援について示す。

2. 基盤的研究力の向上に関する事項

我が国の基盤的研究費である科学研究費助成事業（以下「科研費」という。）及びその他の研究費獲得支援を行うとともに、論文や著作物等、研究成果物の社会への発信支援を通して、本学全体の基盤的研究力の底上げを図る。

（1）研究資金獲得のための支援

研究計画調書作成にかかる支援や、科研費不採択者等への研究費の支援を行う。

（2）論文・書籍等の研究成果発表のための支援

研究分野の成果発表の特性をふまえ、論文・書籍等の執筆や投稿、出版にかかる支援、プレスリリース等の支援を行う。

3. 特色のある分野の研究力向上に関する事項

高い研究パフォーマンスを持つ研究者及び拠点化された研究に対して、大型研究資金の獲得支援や論文投稿支援、研究成果の発信支援を行うことにより、さらに研究力を高め、国内外におけるプレゼンス向上を図る。

（1）大型プロジェクト推進のための支援

国際先端研究拠点や拠点形成研究拠点の拠点としての大型課題（特別推進研究や新学術領域研究）や科研費以外の競争的外部資金の応募を促進するとともに応募申請支援を行う。

（2）インパクトのあるジャーナル等への投稿のための支援

研究成果にさらに影響力を持たせるために、インパクトファクター等で存在感のあるジャーナルへの投稿支援を行う。

（3）研究成果の効果的発信のための支援

海外へのプレスリリース等を通して優れた研究成果を効果的に発信することにより、本学の国際的プレゼンスを高め、全学の研究活性化につながる支援を行う。

4. 研究支援環境に関する事項

研究者間の支援やURA等の研究支援人材による効率的・効果的な支援を行うとともに、既存の設備等を有効的に活用する。

（1）事務的支援の充実

部局等の事務支援者が活動しやすい情報提供等を行う。

（2）研究者間の支援やURA等による支援の充実

第2期期間中に実施した「熟練教員」やURAによる支援を拡充・発展しニーズに応じた支援を行う。

（3）研究設備・機器の共用化促進

研究設備・機器の共用化促進のために、現在整備している「設備管理データベースシステム」の有効活用及び共同利用促進セミナー等を実施する。

5. 本方策の見直しについて

本方策は研究推進会議の審議を経て必要な事項を見直すことができるものとする。